

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 タカセ株式会社

コード番号 9087 URL <http://www.takase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大宮司 典夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 島津 和人

TEL 03-3571-9497

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,097	5.0	30	—	45	—	23	—
26年3月期第3四半期	6,756	1.9	△27	—	△17	—	△56	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 43百万円 (75.1%) 26年3月期第3四半期 24百万円 (△77.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	2.32	—
26年3月期第3四半期	△5.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	9,818	6,786	69.1	682.54
26年3月期	9,791	6,861	70.1	686.54

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 6,786百万円 26年3月期 6,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.50	10.50
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.50	10.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	2.7	65	537.3	80	323.1	35	—	3.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	10,545,133 株	26年3月期	10,545,133 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	601,703 株	26年3月期	550,386 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	9,976,924 株	26年3月期3Q	10,033,014 株
----------	-------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 一般概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策により企業業績や雇用環境の改善がみられ、緩やかな景気回復の兆しが見られました。一方、消費税増税前の駆け込み需要の反動による個人消費の低迷、急激な円安による原材料価格の高騰、さらには地政学的リスクや欧州および新興国の景気不振懸念などにより、先行きに不透明な状況が続いております。

当社グループの属する物流業界は、依然として、顧客の物流コスト圧縮の要請と業者間の過当競争による収受料金の低下がみられるほか、運賃仕入れコストの増加、人手不足ならびに労務コストの上昇といった事業環境にある中、物流業務にかかる高度な業務品質の維持・向上を迫られ、期待利益の確保が厳しい状況となっており、業務品質の維持・向上に努めてまいりました。

こうした状況の中で、当社グループは「グループ経営の強化」を重要課題に掲げ、グループ各社がそれぞれの事業分野や地域において競争力を高め、収益力向上を果たすため、国内物流拠点や海外ネットワークの拡大・充実および輸配送にかかる商品開発に取組み、新規顧客の導入と既存顧客の業務拡大に最大限注力しつつ、業務品質の維持・向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの営業収益は、一部既存顧客に消費税増税前の駆け込み需要の反動による取扱物量の減少が見られたものの、新規顧客の導入と既存顧客の物流拠点拡大等に対処し、業務拡大を図ったことにより、前年同期間と比較して5.0%増の70億97百万円の計上となりました。しかしながら、利益面におきましては、運賃仕入れコストや労務コストの上昇などによる費用増加のほか、顧客の業務量拡大にあわせた業務品質の維持・向上に対処するための費用の増加をまねいてしまったことにより、営業利益は、黒字転換を図れたものの、30百万円（前年同期間は27百万円の営業損失）に止まりました。また、経常利益は45百万円（前年同期間は17百万円の経常損失）、四半期純利益は23百万円（前年同期間は56百万円の四半期純損失）となりました。

#### ② 報告セグメントの概況

- A. 総合物流事業におきましては、一部既存顧客に消費税増税前の駆け込み需要の反動による取扱物量の減少が見られたものの、国内物流拠点や海外ネットワークの拡大・充実により、新規顧客の導入と既存顧客の業務拡大を図ったことにより、営業収益は前年同期間と比較して5.9%増の69億69百万円となりました。また、営業総利益は、国内物流拠点拡大にともなう一過性の初期費用の計上や業務量の拡大にあわせた業務品質の維持・向上に労務費の増加をまねいてしまったものの、海外の連結子会社で安定した利益の確保が図れたことにより、前年同期間と比較して18.7%増の6億90百万円となりました。
- B. 運送事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する運送分野を担っており、輸配送にかかる商品開発の取組みにより、新規顧客の導入が図れたことから、営業収益は前年同期間と比較して6.5%増の8億30百万円となりました。一方で、営業総利益は、不採算業務の効率化などのコスト改善に努めたものの、新車両購入による減価償却負担増やドライバー不足による費用増加のほか、輸配送事業の商品開発にともなう一過性の初期費用が発生したことにより、前年同期間と比較して79.1%減の6百万円に止まりました。
- C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っており、流通加工にかかる取扱物量の増加により、営業収益は前年同期間と比較して1.0%増の9億8百万円となりました。また、営業総利益は、労務コストの上昇が見られる中、作業の効率化に努めたことにより、前年同期間と比較して5.2%増の64百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ26百万円(0.3%)増加し、98億18百万円となりました。

この主な要因は、受取手形及び売掛金が1億2百万円、その他の流動資産が立替金の増加により97百万円増加した一方で、現金及び預金が79百万円、有形固定資産の合計が1億円減少したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億1百万円(3.5%)増加し、30億31百万円となりました。

この主な要因は、長期借入金に短期借入金に表示振替したことにより2億20百万円減少したものの、短期借入金が増加したほか、支払手形及び営業未払金が54百万円、未払費用が42百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ75百万円(△1.1%)減少し、67億86百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が四半期純利益による増加23百万円と前期剰余金処分に伴う期末配当金支払による減少1億4百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年11月12日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,036,578	2,956,681
受取手形及び売掛金	1,070,133	1,172,425
原材料及び貯蔵品	11,858	12,406
前払費用	40,117	49,238
繰延税金資産	77,432	65,456
未収法人税等	35,254	584
その他	130,695	228,469
貸倒引当金	△214	△255
流動資産合計	4,401,855	4,485,006
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,202,719	8,226,998
減価償却累計額	△6,051,767	△6,180,158
減損損失累計額	△104,535	△104,535
建物及び構築物(純額)	2,046,417	1,942,304
機械装置及び運搬具	2,085,231	2,077,487
減価償却累計額	△2,006,369	△1,981,673
機械装置及び運搬具(純額)	78,861	95,814
土地	1,574,272	1,574,272
その他	442,044	453,636
減価償却累計額	△352,135	△376,861
その他(純額)	89,909	76,774
有形固定資産合計	3,789,460	3,689,165
無形固定資産		
借地権	458,486	458,486
その他	95,130	84,836
無形固定資産合計	553,616	543,322
投資その他の資産		
投資有価証券	509,746	524,618
繰延税金資産	193,523	193,219
その他	354,244	393,226
貸倒引当金	△10,583	△10,222
投資その他の資産合計	1,046,930	1,100,842
固定資産合計	5,390,007	5,333,331
資産合計	9,791,863	9,818,338

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	465,409	519,805
短期借入金	530,000	716,000
未払費用	127,049	169,057
未払法人税等	8,784	24,279
賞与引当金	64,922	25,596
役員賞与引当金	-	11,512
その他	106,974	155,908
流動負債合計	1,303,140	1,622,159
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	460,000	240,000
役員退職慰労引当金	96,854	109,155
退職給付に係る負債	570,052	560,278
固定負債合計	1,626,907	1,409,433
負債合計	2,930,047	3,031,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	2,562,845	2,481,059
自己株式	△145,503	△159,007
株主資本合計	6,721,191	6,625,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,479	99,057
為替換算調整勘定	51,144	61,786
その他の包括利益累計額合計	140,624	160,843
純資産合計	6,861,816	6,786,744
負債純資産合計	9,791,863	9,818,338

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業収益	6,756,393	7,097,351
営業原価	6,094,014	6,348,347
営業総利益	662,379	749,004
販売費及び一般管理費	690,050	718,234
営業利益又は営業損失(△)	△27,671	30,769
営業外収益		
受取利息	616	702
受取配当金	15,912	20,257
受取賃貸料	3,018	3,007
その他	10,169	11,137
営業外収益合計	29,716	35,104
営業外費用		
支払利息	11,880	14,178
支払補償費	6,244	5,225
その他	1,462	1,073
営業外費用合計	19,587	20,476
経常利益又は経常損失(△)	△17,542	45,397
特別利益		
固定資産売却益	49	1,734
投資有価証券売却益	6,327	-
特別利益合計	6,377	1,734
特別損失		
固定資産除売却損	13,090	251
減損損失	51,917	-
特別損失合計	65,007	251
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△76,173	46,881
法人税、住民税及び事業税	13,552	16,738
法人税等調整額	△32,796	6,984
法人税等合計	△19,243	23,723
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△56,929	23,158
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△56,929	23,158



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△56,929	23,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,929	9,577
為替換算調整勘定	39,774	10,641
その他の包括利益合計	81,703	20,218
四半期包括利益	24,773	43,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,773	43,376
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

① 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	6,571,512	76,472	81,413	6,729,399	26,994	6,756,393
セグメント間の内部営業収益又は振替高	12,349	703,757	817,815	1,533,922	89,774	1,623,696
計	6,583,862	780,230	899,228	8,263,321	116,768	8,380,089
セグメント利益	581,187	32,359	61,034	674,582	13,146	687,729

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	6,756,393
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△1,623,696	—
計	△1,623,696	6,756,393
セグメント利益	△25,349	662,379

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△25,349千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「総合物流事業」セグメントにおいて、倉庫設備の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において51,917千円であります。

2. 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

① 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	6,937,936	88,963	46,133	7,073,033	24,318	7,097,351
セグメント間の内部営業収益又は振替高	31,755	741,930	861,987	1,635,672	97,674	1,733,347
計	6,969,691	830,893	908,121	8,708,706	121,992	8,830,698
セグメント利益	690,134	6,779	64,200	761,115	14,622	775,737

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	-	7,097,351
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△1,733,347	-
計	△1,733,347	7,097,351
セグメント利益	△26,733	749,004

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△26,733千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。